

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新年を迎えたとはいえ、昨年発生した東日本大震災は、いまだに多くの爪痕を残し、被災地では今なお厳しい状況が続いております。一日も早い復興の前進と、皆様の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

さて当法人も開設6年目になりますが、開設当初よりスタッフの質の向上を図りながら、ご利用される方々への専門的な支援を目指して事業展開を図って参りました。

国の福祉施策もこれまで幾度となく改正されて参りましたが、障害者自立支援法の支援体系が見直され、新しい障がい児支援制度においては、身近な地域で支援が受けられるよう量的な拡大と、障がい特性に応じた専門的な支援が提供されるよう質の確保を図り、支援の強化を図っていくという主旨の法案が成立され、新年度から施行することになります。

新法案は、当法人が目指してきている事業内容でもあり、これまで培ってきたものを十分活かせる体制を構築しながら取り組んで参ります。

これからも関係各位との連携を密にしながら邁進して参りますので、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

～理事長 榎木正俊～



秋まついの報告と御礼

震災後の開催となりましたが、皆様のお力添えのもと今年も開催することができました。

1000年に一度の震災を乗り越えて当日を迎えることができ、人間の力のすごさを実感しております。昨年に続きイケメンズさんのライブの迫力には勇気をいただきました。今年度は和太鼓の演奏も加わり力強く演奏している姿は、震災を乗り越えて復興していく姿に見えました。法人内3園（さわおとの森、ひまわり園、あのねの森）の未就学児の演技は、大勢の人前の舞台に立ち、堂々と演技しておりました。毎年子どもたちが日々成長していく姿に感動しております。



今年度は遠方にもかかわらず、夏休みに引き続き神奈川県の高津養護学校の先生方にボランティアに加わっていただきました。県を超えての温かいご支援に人のつながり、温かさを感じました。地域の皆様にも感謝しております。秋祭りを通して皆様と一つになれたことに感謝しております。これからもよろしくお願いいたします。

～主任 阿部吉朗～



どんぐりにイオンの国からサンタさんたちがきました！

14日はどんぐりクラブのクリスマス会でした！！

職員によるアンパンマンの人形劇、お母さん達の息のピッタリ合ったアルゴリズム体操、そしてサンタの帽子をかぶり、キラキラの衣装をつけた子供達による歌、合奏、踊り、が入ったとてもかわいらしい出し物が披露され、大盛り上がりでした！子ども達が頑張ったごほうびにと、イオンの国からサンタさんがやってきて一人ひとりにプレゼントを手渡してくれました。

そのプレゼントは・・・お菓子がたくさん入った大きな大きなブーツ。プレゼントを抱きかかえた子供達の笑顔に、サンタさんたちもハッピーな気持ちでイオンの国へ帰って行きました！



どんぐりのみんなにプレゼントをもってきたよ！

メリークリスマス！！



＜協賛企業＞ イオン利府店 様

楽しい絵画展

楽しい絵画展は東日本大震災被災地の岩手、宮城、福島の3県で暮らす障がいのある子どもたちために、愛知児童発達支援連絡会東北支援窓口「アーチしばた」赤坂様のご紹介により、

洋紙商社（株）シロキ様から創作活動用紙を提供して頂いたことで開催されました。学童デイサービスを利用している子どもたちが、活動の中で頂いた画用紙に好きな色を使い、それぞれの思いをこめて、かいっぱい描きあげました。出品された作品は昨年10月26日から名古屋市各地をはじめ愛知県下で順次開催され、大きな反響をいただいているそうです。

楽しい絵画展～とうほくのちから～ に出展し賞をいただきました。受賞された皆さまをご紹介します。

- 【奨励賞】 佐々木莉那さん、石井悠莉さん、渋谷那美佳さん、高橋奈緒さん、金野真琳さん
- 【佳作】 佐藤江流さん、西條天晴さん、長谷部咲さん、鈴木万里菜さん、林崎礼奈さん、只野雄治さん



地域企業連携

生活介護「わのみ」では、日中活動の一環として、地域企業との連携を重ねてきました。リサイクル箸の管理と駐車場の清掃管理を中心に、生活介護事業の中でご利用者のお仕事として定着を図り、得た収入で調理活動の材料費などに充てています。

＜連携企業＞

株式会社 情熱ノチカラ 麺屋久兵衛 様



塩竈市ひまわり園

ひまわり相談室

塩竈市からの委託による「障がい児・者発達等相談支援事業」として、平成21年度よりひまわり園内で開設された「ひまわり相談室」は、今年で3年目を迎えました。塩竈市・

に住んでいる障がい児・者とその保護者、また学校・保育所・通所施設等で支援に関わっているスタッフに対して、専門の相談員による療育や支援に関する相談やアドバイスを提供できる場として着実に地域に定着してきており、お子さんの障がい特性や理解についての相談、また、障がいを持つ成人の方の生活技術についての相談など22年度では現在、平均して月に10件前後の相談がありました。

相談に関する予約・お問い合わせは 022-365-6811

塩竈市ひまわり園まで



藤倉保育所との交流

保育所に併設している施設という特性を生かして積極的に交流を図っています。特に3歳児クラスとは月に一回（ひまわり園と保育所で交互に企画）交流保育を実施しています。夏には保育所園庭で行われた「星まつり」に参加し、合同での「マルモリダンス」を一緒に踊ったり、秋には市の体育館にて行われた運動会でかけっこや玉入れなど、できる範囲での競技に参加し、ひまわり園としての演技では自信を持って挑戦するなど、様々な経験や感情を共有をする場となっています。自然に触れ合う姿はとても微笑ましいものがあります。

松島町希望園・七ヶ浜町松ぼっくり広場との三園交流

毎年恒例になっている、七ヶ浜町「まつぼっくり広場」、松島町「希望園」、そして塩竈市「ひまわり園」の三園での交流会が今年度も9月22日、希望園を会場にしてゲームをしたり、体操をしたりとにぎやかに行われました。今年度はいろいろなことがあり実施ができるか心配されましたが、参加園の皆さんの協力により楽しい交流をすることができ、子どもたちもママたちも笑顔いっぱいの日になりました。

総合防災訓練

10月21日に、藤倉保育所と合同の総合消防訓練が行われ、塩竈消防署から本物の消防車が来ました。ひまわり園の未就学デイサービスを利用しているお友だちは、「はたらくくるま」に出てくる消防車の本物が目の前にあるということとても目を輝かせて見入っていました。職員の消火訓練の後にみんなで消防車と記念撮影もできて、貴重な体験となりました。



あのねの森

法人内三施設交流

あのねの森では同法人内で他事業所との交流を行なっています。さわおとの森やひまわり園と合同で活動を行い夏には学童児たちがひまわり園の子どもたちと一緒にマイクロバスで南川ダムの子せらぎ公園に行き、この日は天気にも恵まれみんなで川遊びを楽しんできました。秋にはさわおとの森で焼き芋をして美味しいお芋を食べたり、さわおとの森の遊具で遊びました。あのねの森にいただけではできないような活動や遊びができ、子どもたちもとても喜んでいました。

学童だけではなく、未就学児でもお互いの園を行き来して一緒に遊んだり、芋煮会を開いて楽しい活動を行ってきました。

いつもと違う顔ぶれ違う環境で活動することで、楽しい体験を通し子どもたちにとって良い刺激になることができました。また、子どもたちだけではなく、同じ法人でも普段会って話すこともなかった職員同士が行事を通して交流を深めたり刺激し合ったり、これからの力になったことと思います。

今後も他事業所との交流を行っていき、子どもも大人も共に刺激し合い、成長の糧にしていきたいと思います。また同じ法人内の事業所だけではなく、別の事業所との交流も企画し子どもたちにとって、そして職員にとっても良い体験ができるようにしたいと考えています。



<夏のバス遠足>



<やきいも会>



<芋煮>

～高津養護学校ボランティア～

3月の大震災で大きな被害や心痛を受けた宮城県民を応援しようと、昨夏、神奈川県にある高津養護学校の先生たちやボランティア登録をした社会人の方々が、毎日3、4人交代で宿泊先の白石からさわおとの森にボランティアに来てくださいました。ひまわり園やあのねの森での活動にも参加していただき、それぞれの施設でお子さんたちと一緒に出かけに参加したり楽しく遊んで頂いたりしました。また、10月末の秋祭りにお誘いしたところ、快くご参加くださり、学童児の冬休み期間にも再度お手伝い頂き、すっかり旧知の仲になったことを強く感じました。今回、遠く離れた他県からもこの震災の痛みを共に分かち合おうとする暖かいまごころを持った方たちの存在を知ることができたのはとても嬉しいことでした。いらしてくださった皆様に心から感謝申し上げ、このご縁をこれからも大切にしていきたいと思っています。

～資質向上研修～

昨年は、法人さわおとの森をご利用の方々に、より一層充実したサービスをご提供させていただくため、加えて仙塩地区の中核となって今後福祉サービスの基盤を担っていきたいという思いもあり、職員の資質向上のために職員研修に力を注いでまいりました。外部から講師を招いての定期的な研修のほかに、現在さわおとの森で展開している主の事業ごとに、近隣で先進的に取り組まれている事業所を訪問し、見聞きしながら実際に学んでまいりました。ご協力いただいた施設・団体の皆さま、本当にありがとうございました。

<さわおとの森>

- ・どんぐりクラブ（未就学デイサービス）…むつみ学園 様（柴田町）
- ・くるみクラブ（学童デイサービス）…セカンドハウスわくわく 様（福島県いわき市）
- ・生活介護「わのみ」（生活介護）…栗原秀峰会 様（栗原市）、ふくし工房かつらっば 様（栗原市）

<ひまわり園>

米沢市社会福祉協議会（山形県米沢市）、置賜自然と共育の村 児童デイサービス「ばおばぶ」 様（山形県米沢市）

<あのねの森>

NPO法人山形親子療育支援ネットワーク すぎの子教室 様、アイアイひろば 生活塾アイアイ 様（山形県山形市）

新入職員紹介



鈴木 志穂

（さわおとの森学童デイ・フォート配属）
11月からさわおとの森の一員となりました。鈴木志穂です。利用されている皆様の元気に負けぬようパワフル！？に日々努めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひ致します。



會澤 容子

（さわおとの森 生活介護配属）
一年ぶりに復帰しました。子どもを産んでパワフル！？になった會澤です。まだまだ身体が追いつかない状態ですが、明るく笑顔で一生懸命頑張りますので、皆さん宜しくお願ひ致します。



今村 しげ子

（あのねの森配属）
毎日が勉強とチャレンジの日々です。慣れないことに戸惑うこともしばしばですが、このような学びの機会を与えて頂いたことに感謝して頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願ひ致します。



成沢 さおり

（ひまわり園配属）
まだ分からないこともいっぱいありますが、子どもたちと一緒に過ごしていくことは大好きです。どうぞよろしくお願ひ致します。

～緊急時の連絡手段について～

先の震災時ではライフラインの遮断により、ご利用者様、関係者の皆様との連絡にも影響を及ぼしご迷惑をおかけすることとなりました。その後当法人では、固定電話やパソコンメールが不通の場合等の緊急時の対策として各園にPHSを導入いたしましたので、ご登録をお願いいたします。なお、予約等緊急時以外の連絡は、今まで通り代表番号へのご連絡をお願いいたします。

さわおとの森： 070-6622-1650 sawaoto-kinkyu@willcom.com
ひまわり園： 070-6621-1170 himawari-kinkyu@willcom.com
あのねの森： 070-6621-7773 anone-kinkyu@willcom.com

～スプリンクラー設置について～

現在のさわおとの森の建物では、消防法上スプリンクラーの設置義務はありませんが、昨年の震災後、法人としてもより一層のご利用者の安全確保のために県に助成金申請を行い、設置費用の一部を助成いただく運びとなり、水道直結型のスプリンクラーを年度内中に設置する予定です。工事の際にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

～ボランティア募集～

特定非営利活動法人さわおとの森では、ボランティアを随時募集しております。どうぞお気軽にご連絡ください。

- （例）
- ・未就学児～中学生の子供たちの遊び相手、障がい者（成人）の遊び相手・お話相手、障がい児・者の買い物付き添いや公園などへの外出の際の手伝いなど
 - ・未就学児とともに通ってくる兄弟（乳幼児）のお世話（一部有償）など

[<お問い合わせ>](#) 菅野桂子・阿部吉朗 まで

利用料の口座振替がお済でない方へ

昨年4月より、利用料の口座振替手数料を無料（さわおとの森負担）といたしましたので、ぜひご利用ください。手続きをご希望の方は、各園までご連絡ください。

おわびと訂正

前回7号広報の賛助会費及び寄付者名簿の記載に一部間違いがありました。ご本人様及びご家族様には謹んでお詫び申し上げます。